

歌うことで地元之恩返しを



廿日市市出身の歌手、花岡なつみさん。現在、東京の芸能事務所に所属し、全国で活動しています。

四季が丘で生まれ育った花岡さんは、高校を卒業して上京した平成27年8月に、ドラマの主題歌にもなった「夏の罪」で歌手デビュー。その年の11月には、「第57回日本レコード大賞 新人賞」と「第48回日本有線大賞 新人賞」に輝きました。

平成29年1月には、廿日市市出身の著名人として、「はつかいち応援大使」に就任し、

市の魅力を全国にPRしていただきます。

ホームグラウンド「廿日市市」

7月29日、四季が丘の夏祭り、花岡さんの凱旋ライブが行われました。

「今日は、友達やお世話になった地域の人たちが、たくさん来てくれてます。やはり地元が一番応援してくれているので、恩返しのお気持ちを込めて歌います」と全5曲を力強い歌声で、会場に詰めかけた人たちに届けました。



左の2次元コードを読み込むと市公式ホームページに飛びます。7月29日に、四季が丘の夏祭りで行われた花岡なつみさんの凱旋ライブの動画を、9月1日(金)に掲載しますので、ぜひご覧ください。

「生まれ育った場所なので、いつでも帰って来られる場所です。廿日市市は「けん玉」や「宮島」などたくさん魅力があります。意外と知られていません。

今年から『はつかいち応援大使』になったので、これから各地のライブや、ブログなどで、廿日市市の魅力をたくさん発信していきたいです」と笑顔で話してくれました。

もっとたくさんの人に歌を届けたい

凱旋ライブを終えた後も「なつちゃん頑張つて」「応援しとるよ」といった歓声が止まりませんでした。

花岡さんは「温かい言葉をたくさん掛けていただけると、元々ステージは安心感があり、私も元気をもらいました。地元の皆さんに恩返しができるよう、もっと『花岡なつみ』をたくさんの人に知ってもらい、私の歌を聞いた人に、何かを感じてもらえるような歌手になりたいです」とこれからの意気込みを話してくれました。

目の不自由な人のための
音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。
「広報はつかいち」のアクセスナンバー、マイジー図書、点訳本があります。問い合わせ先 社会福祉協議会 ☎0294

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
編集 分権政策部 総務政策課 広報統計グループ
ホームページアドレス http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス http://www.facebook.com/hatsukaichicity

はつかいち人 vol.21 廿日市市で輝く人を紹介します

歌手 花岡なつみさん (21歳・四季が丘)

人のうごき

前月比

総人口	117,422人	(+66)
男	56,443人	(+56)
女	60,979人	(+10)
世帯	51,377世帯	(+12)

(平成29年8月1日現在、外国人を含む)

西岡秀治

平和ツアーの取材で原爆をテーマにした映画を鑑賞しました。印象的だったのが、日本とアメリカの相反する立場の人が登場して、原爆に関して語ったことでした。国や思想で立場は違っても、二度と戦争を繰り返さないという同じ思いを持つことの大切さを改めて感じました。

瀬谷里香

吉和夏まつりを取材しました。昼はアマゴの掴み取りや、とうもろこしの摘み取りで見た子どもたちの元気いっぱい笑顔に癒され、夜は出店やステージ、花火を見て、子どもの頃に帰ったような、懐かしい気持ちになりました。花火の撮影場所は、地元の方に教えていただいた、吉和支所近くのひまわり畑です。花火の光にひまわりが照らされ、幻想的な雰囲気でした。

編集後記